

平成28年度（第12期第5回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成29年3月14日(火)
午後2時00分～
中央公民館 講座室2

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 議事
 - (1) ごみ組成分析調査結果について
 - (2) 市民アンケート調査結果について
 - (3) 一般廃棄物処理基本計画中間見直し及び災害廃棄物処理計画における基本方針（骨子案）について
 - (4) 小平市リサイクルセンターの整備における進捗状況について（報告）
 - (5) 食物資源循環モデル事業の検証結果について（報告）
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

-
- 資料1 小平市燃えるごみ組成分析調査報告書
 - 資料1-2 小平市燃えるごみ組成分析調査結果概要
 - 資料2 小平市ごみ・資源に関するアンケート調査報告書
 - 資料2-2 小平市ごみ・資源に関するアンケート調査結果概要
 - 資料3 市民アンケート調査結果前回（平成25年度実施）比較
 - 資料4 食物資源循環モデル事業実施報告書
 - 資料4-2 食物資源循環モデル事業実施報告書（概要）
 - 資料5 小平市リサイクルセンターの整備における進捗状況について

（参考資料） 事務局からの報告事項（メモ）

会長	<p>ただいまから、第5回の審議会を開催いたします。</p> <p>本日は傍聴をご希望の方がいらしていますので、入室していただきます。</p> <p>本日は、熊井委員、林田委員、古川委員、渡辺副会長から欠席の連絡をいただいています。</p> <p>はじめに、環境部長からごあいさつをいただきます。</p>
環境部長	<p>年度末のお忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>東日本大震災から6年を迎え、いまだ3万人を超える被災者が仮設住宅での生活を余儀なくされています。また、メルトダウンしました福島第二発電所では、格納容器内のロボット調査が行われましたが、目的は達成できず、廃炉への道の厳しさが確認されました。改めて被災地と福島を忘れないようにしたいと思います。</p> <p>次に小平市におきましては、3月議会の真っ最中でありまして、先週の予算特別委員会、本日の総務委員会で補正予算が確認されました。4月には、市長選が予定されておりますので、骨格予算ということで無事に可決されました。</p> <p>今回の審議会では、諮問事項になっております、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しのための組成分析調査、市民アンケート調査の取りまとめができましたので、ご意見を頂戴したいと存じます。また、計画の見直しの骨子案もできましたので、ご審議をお願いいたします。</p>
会長	<p>続いて、事務局から、配付資料の確認をお願いします。</p>
事務局	<p>*****配付資料 確認*****</p>
会長	<p>それでは、次第の「2 事務局報告」に移ります。</p> <p>事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>***** 報 告 *****</p>
会長	<p>ただいま報告のあった件について、ご質問などはございますか。</p>
委員	<p>食物資源循環事業について、今年度1000世帯を継続ということですが、最終的にはどんなイメージを持っているのか聞かせてください。</p>
事務局	<p>当面、有料化も含めて一定の期間、1000世帯の規模で継続することを考えております。有料化後にどこまで世帯を拡大していくのかを含めて、検討していきます。</p>
会長	<p>続いて、次第の「3 議事」に移ります。</p> <p>(1)「ごみ組成分析調査結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>*****資料1-2の概要に沿って説明 *****</p>
会長	<p>説明は終わりましたが、ご質問、ご意見などあればお出しください。</p>
委員	<p>組成分析が11月に行われているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>ごみ量が増える時期を外して、平均的なごみが出る時期に実施するためです。</p>

- 委員 ごみが多く出るときの調査も面白いのではないかと思います。
- 会長 小平市全体のごみ量の組成は調べられないと思いますが、他市で全体を調べるような事例はありますか。
- コンサルタント 秋でしたら落ち葉が出る、衣替えの時期は布が大量に出る、夏はスイカが出るなど、どの時期でやっても何らかのばらつきは出てきますので、手としては季節を変えて、4回くらい場所を変えて、サンプルを散らして、平均を取るのだと思います。
- 委員 これは意見ですが、プラスチックの分別がとても難しく悩んでいます。分別を進めるために、これからは子供を通して親を教育することが必要だと思います。
- 委員 プラスチックのリサイクルマークは、お年寄りには分かりにくいと思います。
- 委員 組成分析の結果、燃えるごみの適正な分別が87%となっています。かなり高い数字だと思います。
- 事務局 87%は高い数字で、府中市では74%まで落ちています。
- 会長 有料化になれば、90%という数字になっていくはずですが。
- 委員 収集したプラスチック類のうち、汚れていたり、対象外のものはどのくらい入っていますか。
- 事務局 割合を確かめるような組成分析はやっていません。
- 副会長 学校の授業では、環境教育で3Rについて学ぶところまでできますが、プラスチックの分別まで授業の中で話するのは難しいです。青少対の地域清掃活動で資源循環課から講師を派遣して説明できればいいかもしれません。
- 会長 次に、(2)「市民アンケート調査結果について」に移ります。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 *****資料2-2の概要に沿って説明*****
- 会長 説明は終わりましたが、ご質問、ご意見などあればお出しください。
- 委員 世帯主に向けてアンケートを発送しましたか。
- 事務局 世帯主ではなく、住民基本台帳から18歳以上を対象に無作為で抽出して発送しています。
- 委員 20代、30代など年代ごとに分けて送っていますか。

事務局	年代ごとに均等に配分して発送しています。
委員	年代ごとに均等に発送しているということですので、国勢調査の結果と比較してもという表現はおかしくないですか。
コンサルタント	18歳以上以外に何の手も加えずランダムに送っていると思っていました。無作為抽出でなければ、国勢調査との比較は意味がありませんので、この部分は削除すべきだと思います。
会長	次に、(3)「一般廃棄物処理基本計画中間見直し及び災害廃棄物処理計画における基本方針（骨子案）」についてに移ります。 事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>小平市一般廃棄物処理計画の中間見直し及び災害廃棄物処理計画策定の骨子について説明いたします。</p> <p>策定の背景でございます。小平市では循環型社会の形成を目指し総合的かつ計画的な廃棄物処理事業を推進するための方向性などを定める「小平市一般廃棄物処理基本計画」を平成26年3月に策定したところです。</p> <p>計画期間は平成26年度から平成34年度と定め、平成29年度を中間目標年度として、本計画の運営結果などを踏まえ、計画の中間見直しをすることとしました。</p> <p>計画策定以降の主な取組といたしましては、平成26年9月に回収ボックスによる小型家電の回収を始め、同年11月には更なる資源化を図る為の分別変更を実施し、資源化品目の拡大を行いました。</p> <p>平成27年1月には拠点回収を「リサイクルきゃらばん」と名付け回収品目の拡大を行いました。同年10月にはスマートフォンなどの利用者に向けて、ごみ分別アプリをリリースしました。</p> <p>食物資源循環モデル事業は、この間に事業を拡大し、平成28年度末には目標としていた1000世帯を概ね達成し、平成29年4月からは本格実施することといたしました。</p> <p>一方、施設整備におきましては、小平・村山・大和衛生組合及び構成3市が構想する、プラスチック製容器包装及びペットボトルの処理を行う3市共同資源化処理施設が平成31年度稼働に向けて準備を進めているほか、小平市リサイクルセンターにおいても建て替えが決まっており、こちらも平成31年度稼働に向けて準備が進んでおります。</p> <p>更に、災害廃棄物処理につきまして、国の方で指針が示され、災害時の廃棄物処理を迅速に進めるため、可能な限り事前に対策を講じておくことの重要性が示されており、小平市におきましても、災害時の廃棄物処理対策は課題となっており、小平市地域防災計画の中では、がれき処理対策を行うこととなっております。</p> <p>このようなことを踏まえ、中間見直しでは、これまでの取組の成果や課題を整理し、最終目標年度である平成34年度にむけて廃棄物処理事業を推進していくための見直しを行い、あわせて災害廃棄物処理計画を策定します。</p> <p>次に計画の位置づけです。本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に基づく「一般廃棄物処理基本計画」になります。</p> <p>また、災害廃棄物処理計画については、災害対策基本法第42条による「小平市地</p>

域防災計画」に基づくものとし、環境省の「災害廃棄物対策指針」、東京都の「東京都災害廃棄物処理計画」との整合性を図ります。

3は計画対象期間です。平成30年度から34年度の5年間になります。

4は計画の内容です。

計画の基本理念及び基本方針を現行のまま引き継ぎ、先ほど説明した市民アンケート、ごみ組成分析の内容を踏まえながら、減量推計の見直し、重点的に取り組むべき内容を精査し、現状に即したものとして、見直し案を示します。

また、災害計画につきましては、災害時における大量のがれきの発生などを考慮し、災害廃棄物の処理が迅速かつ適切に行われるよう基本的事項を整理・検討し、一般廃棄物処理基本計画の中に位置づけます。

5は検討・準備体制です。

計画中間見直し及び災害計画に係る事務は、環境部資源循環課が行い、関係各課との調整を図ります。

計画（素案）を作成し、市報（特集号）やホームページなどにより広く公表し、市民意見公募手続き（パブリックコメント）及び市民説明会を開催します。

今回の方針骨子もそうですが、今後の計画（素案）についても、小平市廃棄物減量等推進審議会において、審議いただくとともに、意見を聴取したいと考えております。

6は留意事項です。

市議会へは方針及びパブリックコメントの実施、計画の策定の際に、適宜、報告を行います。

また、進捗に応じて、適宜、ホームページなどで情報を公開します。

7 スケジュール概要

5月 小平市一般廃棄物処理計画中間見直し及び災害廃棄物処理計画作成（方針）作成、庁議付議、議会報告

8月頃 小平市一般廃棄物処理計画中間見直し及び災害廃棄物処理計画（素案）作成、審議庁議付議、議会報告

10～11月 市民説明会、パブリックコメント

12月 パブリックコメント結果公表

平成29年1月 答申 2月 計画策定

会長 説明は終わりましたが、ご質問、ご意見などあればお出しください。

委員 災害廃棄物は分別して保管しておく、後の処理が楽になります。東日本大震災で、白物家電などを分けておいたので早く処理ができたということを知っています。

小平市では仮置き場の場所が非常に少ないので、場所の確保をしておいたほうがいいと思います。そうしておけば、後の処理費がかからないと思います。

事務局 小平市の地域防災計画で想定されているがれき量は63万トンです。63万トンという量は想像しにくいですが、小平市のごみ量の12年分に当たります。仮置き場の確保と分別を的確にやらないといけませんので、基本計画の中で問題を整理し、出来る限り計画の中で答えを出していきたいと考えています。

委員 今回の見直しに災害廃棄物を盛り込んでいくということですか。

会長	焼却場を建てる時に国や東京都から補助金が出ますが、災害廃棄物の処理を含めた規模の施設建設に対して補助金が出ることになっていますので、災害廃棄物の処理計画を基本計画に盛り込む必要があります。
委員	地域防災計画はどこで作るのですか
事務局	防災危機管理課で作ります。
会長	木など一般廃棄物として中間処理できるものは市で処理しますが、土、汚泥、コンクリートがらなど明らかに中間処理できないものは、産業廃棄物として処理することになるかと思えます。広域的に協定を結んで処理を行うことになると思えます。
事務局	災害は広域的に起こることが想定されますので、東京都では災害廃棄物の処理基本計画が平成29年度の早い段階で示される予定になっています。その内容も見ながら計画を考えていきたいと思えます。
委員	63万トンのがれきはどこに保管するのですか。
事務局	学校の校庭は人の居住が優先されますので、学校の校庭を優先的に使えるか、今後の検討課題になります。計画の中では民間の土地の活用を考えていかないといけないと思えます。
委員	災害時は農家の畑を利用できればいいと思えます。
会長	次に、(4)「小平市リサイクルセンターの整備にかかる進捗状況について」の報告に移ります。 事務局から報告をお願いします。
事務局	***** 資料5に沿って報告 *****
会長	報告は終わりましたが、ご質問、ご意見などあればお出してください。
委員	新リサイクル施設工事は平成29年4月から始まるのですか。
事務局	平成29年9月頃に契約締結をしてその後、設計・工事となります。
会長	次に、(5)「食物資源循環モデル事業の検証結果について」の報告に移ります。 事務局から報告をお願いします。
事務局	***** 資料4-2の概要に沿って 報告 *****
会長	報告は終わりましたが、ご質問、ご意見などあればお出してください。
委員	生ごみの臭いはするのですか。
事務局	出来た堆肥については、臭いはありませんが、専用バケツで1週間分の生ごみを保

- 管しますので、それなりの臭いはします。
- 委員 コスト的には高いのですか。
- 会長 お金はかかっていますが、近隣に安く処理できる施設はなく、市の堆肥化施設をつくることも難しいです。また、堆肥化を行っている高根商事は他市のごみも受け入れていますので、全世帯が参加するような事業規模の拡大も難しいです。
- 事務局 小平の事業は多摩地域では成功事例だと思います。
- 委員 成功の理由は参加者の意識が高いことだと思います。生ごみですから臭いますので、冷蔵庫の野菜室に入れておくなど、参加者が努力していることが成功の秘訣だと思います。夏に生ごみが臭う時に収集する作業員も大変だと思います。
- 会長 ほかにないようですので、議事については、以上とさせていただきます。
次に、次第の「4 その他」に移ります。
事務局から説明をお願いします。
- 事務局 次回の第6回審議会でございますが、事前に会長、副会長と日程につきまして調整をさせていただきました。
委員の皆様にはご多忙の折、大変恐縮ですが、4月28日（金）午後の開催とさせていただきます。
- 会長 ほかにないようですので、本日はこれで閉会といたします。
本日はお忙しい中、ありがとうございました。